「本町橋BASE」にぎわい創造拠点創出・管理運営事業者募集に係る

公募型プロポーザル方式による選定結果について

１　案件名称

「本町橋BASE」にぎわい創造拠点創出・管理運営事業

事業期間　本事業開業日（一部開業を含む）から起算して最長２０年

２　応募期間

令和元年１２月２０日から令和２年１月８日

３　応募事業者（代表者）＊五十音順

　　大希産業株式会社

　　チャンネルマーク株式会社

　　株式会社デイグラン　全３者

４　最も点数の高かった事業者

(代表者)大希産業株式会社

５　学識経験者等の意見を聴取する選定委員会における審査

（１）委員名簿（敬称略）

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 役職等 |
| 橋爪　紳也 | 大阪府立大学研究推進機構特別教授  大阪府立大学大学院経済学研究科教授 |
| 栗本　智代 | 大阪ガス株式会社エネルギー・文化研究所（CEL）  主席研究員 |
| 谷川　昌司 | 谷川公認会計士事務所代表  株式会社ブリシス経営研究所代表取締役 |

　（２）プレゼンテーション及び審査の実施日　　令和２年１月２９日

　（３）審査基準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 審査項目 | 審査の視点 | 配点 |
| [１]業務計画 | | ７５点 |
| （１） 日常的な水辺の  にぎわい創出  １）ハード整備 | ・施設等について、周辺の景観（河川、公園、橋梁等）との調和に配慮した外観となっているか。  ・人々が水辺で憩い、さまざまな人の交流が生まれる、水辺空間にふさわしい魅力的な空間デザインとなっているか。  ・施設等の動線やレイアウト等について、公園利用者・舟運利用者等を誘引し、利便性を高めるうえでの工夫や配慮がなされているか。  ・バリアフリー対応やインフラ施設（上下水道等）の整備など、構造・規模等が事業条件に合致しているか。  ・具体的かつ実現性の高い提案となっているか。 | １５点 |
| （１） 日常的な水辺の  にぎわい創出  ２）ソフト事業 | ・設置施設における日常的な事業の内容は、水辺のにぎわい拠点・公園である本町橋BASEへの集客数など事業効果が期待できるか。  ・イベントの企画内容は本町橋BASE全体の魅力向上に資するものか。  ・効果的なプロモーション活動を計画しているか。水都大阪のブランディングにも寄与するものか。  ・具体的かつ実現性の高い提案となっているか。 | ２０点 |
| （２）水辺のにぎわいと連携した舟運の活性化  １）舟運事業 | ・係留事業（水面工作物の設置を含む）、クルーズや水上アクティビティ（非動力船）の取り組みは、（１）の提案事業や本町橋船着場と連携し、本町橋BASE全体の魅力向上、舟運の活性化に資する提案となっているか。  ・効果的なプロモーション活動を計画しているか。水都大阪のブランディングにも寄与するものか。  ・本町橋BASEの舟運活性化に寄与する便益機能（案内、待合、チケット販売等）が提案されているか。  ・河川を航行する船舶に支障が及ばないよう、係留船舶の離岸時の十分な安全対策が講じられているか。  ・具体的かつ実現性の高い提案となっているか。 | ２０点 |
| （３）地域に根ざした  拠点  １）地域連携・社会貢献 | ・地域団体・沿川の店舗等との連携を図る提案となっているか。  ・社会貢献に資する企画が提案されているか。その内容は本町橋BASE、水都大阪のさらなる魅力向上に貢献するものか。  ・社会貢献に資する企画は、事業実施年数に応じて、徐々に拡充するなどの見通しをもっているか。  ・具体的かつ実現性の高い提案となっているか。 | ５点 |
| （４）維持管理事業  １）施設等の運営計画  （運営計画、維持管理計画、事業実施上の工夫） | ・設置した施設等の維持及びサービス水準の維持・向上（必要な清掃・警備など）に必要な維持管理計画となっているか。  ・夜間も含め、水辺を安全に安心して楽しめる環境づくりへの配慮がなされているか。  ・事業実施にあたり、リスクに対する備えに実効性があるか。  ・防犯カメラの設置については、設置数や位置、撮影範囲、カメラの機能等について、防犯効果を高めるうえでの工夫がされているか。  ・具体的かつ実現性の高い提案となっているか。 | ５点 |
| （４）維持管理事業  ２）事業対象区域（陸上・水上）の維持管理の実施 | ・事業対象区域（陸上、水上）の特徴を踏まえ、維持管理標準仕様書(別紙１０）で示す範囲について、適切に維持管理（施設の目視点検や除草、清掃、植栽管理、防犯カメラ等）を実施できる計画となっているか。  ・地域の環境向上に貢献する内容となっているか。  ・具体的かつ実現性の高い提案となっているか。 | １０点 |
| [２]管理運営能力 | | ２５点 |
| 事業計画  １）事業実施体制 | ・管理運営事業を安定的に実施できる十分な体制を構築しているか。  ・緊急時に適切な対応が可能となる具体的な業務計画となっているか。 | ５点 |
| 事業計画  ２）資金及び収支計画  ３）本事業の施設関連  経費内訳 | ・管理運営事業の確実な実施が見込まれる具体的で計画的かつ実現性の高い収支計画となっているか。 | １０点 |
| 法人の健全性 | ・法人として十分な経理的基礎を有し、安定的かつ堅実な組織運営が行われているか。 | １０点 |

（４）審査の結果（委員の評価点の合計）（合計点の高い順）及び委員からの意見

【評価結果】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 審査の項目 | Ａ社 | Ｂ社 | Ｃ社 | 配点×3委員 |
| [１]業務計画 | | | | |
| （１） 日常的な水辺のにぎわい創出  １）ハード整備 | ３４ | ２８ | ２０ | ４５ |
| （１） 日常的な水辺のにぎわい創出  ２）ソフト事業 | ４８ | ４７ | ２６ | ６０ |
| （２）水辺のにぎわいと連携した  舟運の活性化  １）舟運事業 | ４５ | ５３ | ２６ | ６０ |
| （３）地域に根ざした拠点  １）地域連携・社会貢献 | １３ | ７ | ６ | １５ |
| （４）維持管理事業  １）施設等の運営計画  （運営計画、維持管理計画、事業実施上の工夫） | １２ | １１ | ８ | １５ |
| （４）維持管理事業  ２）事業対象区域（陸上・水上）の  維持管理の実施 | ２２ | １９ | １９ | ３０ |
| [２]管理運営能力 | | | | |
| 事業計画  １）事業実施体制 | １１ | １１ | ８ | １５ |
| 事業計画  ２）資金及び収支計画  ３）本事業の施設関連経費内訳 | １７ | １９ | １５ | ３０ |
| 法人の健全性 | ２６ | ２６ | １７ | ３０ |
| 合計 | ２２８ | ２２１ | １４５ | ３００ |

【Ａ社への委員からの意見】

* 提案内容全体にわたって、これまでの東横堀川の水辺再生の経過をふまえたものとなっており、「地域との共生、地域とともに取り組むまちづくり」を中核とした日常的な水辺のにぎわい創出が期待できる点を高く評価する。
* 舟運事業については、地域内外のニーズをふまえた新規性の高い事業展開による舟運活性化が期待できる。また、水門内への係留を認めた本事業募集の条件を最大限生かし、他の事業者との連携やシェアなど柔軟な対応が可能な係留事業の提案となっていることから、舟運事業全体の発展に寄与することが期待できる。
* 事業の具体化にあたっては、主催者や関係先と十分に調整を行い、事業を継続的に管理運営していくため、収益事業の一層の強化等、事業収支計画のさらなる精査に努められたい。